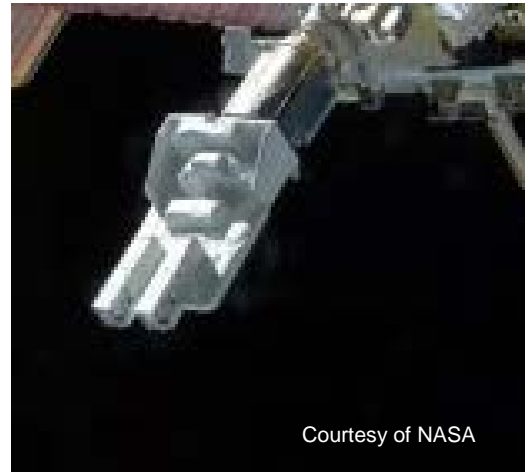


超小型衛星(CubeSat)放出

国際宇宙ステーションにおける日本実験棟「きぼう」モジュールからロボットアームで小型衛星を地球低軌道へ投入します。

提供サービス 及びリソース	安全審査、打上げ、クルータイム、 ロボットアームによる放出
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・専用バッグによる輸送で打上げ時の振動を低減 ・軌道投入前に宇宙飛行士による機器の事前チェックが可能
制約	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙ステーション軌道(高度約400km、軌道傾斜角51.6°)への投入となる。



分野	ミッション
技術実証	各種センサ、通信、計測技術等の実証
地球観測	船舶追跡、森林火災警報、大気観測
教育	地域技術教育等

“きぼう”の実験をサポートするJAMSSとNASAの宇宙ステーション実験をサポートするNanoRacks社^(*)が協同で実現した新しいサービスです。

(*) . NASA-NanoRacks社間のSpace Act Agreement (SAA) による。

【お問い合わせ先】

NanoRacks社日本総代理店: 有人宇宙システム株式会社 宇宙航空事業開発センター

担当: 植村/中山

電話: 03-3211-2005 FAX: 03-3211-2004 E-mail: NRJIKKEN@jamss.co.jp